

平成 30 年 3 月 23 日

保護者の皆様へ

神奈川県立川崎高等学校
校長 平松 和夫

生徒による授業評価（第 2 回）集計結果のご報告

今年度の第 2 回「生徒による授業評価」を 1 月に実施しました。その一部をご報告させていただきます。

今回の結果から、全体として、前期における実技中心の科目については、生徒はきちんと準備をして授業に臨んでいるものの、講義中心の科目では、必ずしも授業中の活動にあまり積極的でない様子が見られます。引き続き各教科において、課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。また、授業の予習・復習の習慣をつけることが意欲・理解を育むための大切な要素だと考えております。ぜひ、ご家庭での声かけ励ましをお願いいたします。

この結果を活かして、より良い授業を目指して今後も取り組んで参ります。

[質問項目]

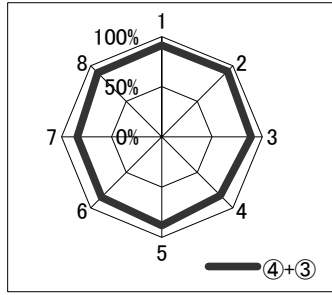
- 質問 1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。
- 質問 2 私は、授業で学習した内容がだいたい理解できている。
- 質問 3 生徒の理解度に合わせて、授業が進められている。
- 質問 4 授業中、生徒同士で話し合う機会や意見を発表する機会がある。
- 質問 5 説明の仕方がていねいで、分かりやすい授業である。
- 質問 6 生徒 1 人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。
- 質問 7 私は、授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどして分かろうと努力している。
- 質問 8 私は、授業に対して意欲的に取り組んでいる。

[回答]

④かなり当てはまる ③ほぼ当てはまる ②あまり当てはまらない ①ほとんど当てはまらない

全日
現代文

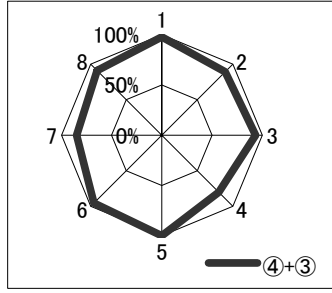
	④	③	②	①	④+③
1	108	148	22	3	91%
2	93	166	19	2	93%
3	105	143	27	4	89%
4	109	122	36	13	83%
5	122	125	29	4	88%
6	98	140	35	7	85%
7	89	147	37	7	84%
8	116	137	25	2	90%



全体的に高い評価を得ることができた。ほぼ全ての項目で80%を超えていることからわかる通り、一人ひとりの状況に合わせて丁寧な指導ができています。グループワーク等を取り入れることもでき、授業改善も進められている。

古典

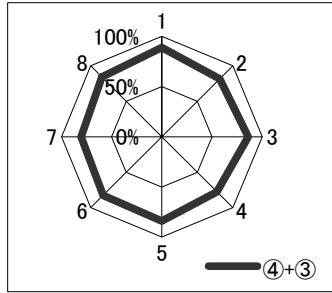
	④	③	②	①	④+③
1	26	19	1	0	98%
2	17	24	5	0	89%
3	26	17	3	0	93%
4	13	23	9	0	80%
5	32	14	0	0	100%
6	25	19	2	0	96%
7	16	23	7	0	85%
8	20	22	4	0	91%



全体的に高い評価を得ることができた。その中では、項目4の評価が低い。今後は今以上にグループワーク等を取り入れることで生徒が積極的に学ぶことができるような意識付けを心がけていきたい。

コミュニケーション英語I

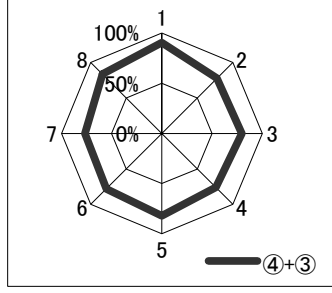
	④	③	②	①	④+③
1	47	138	20	3	89%
2	60	110	35	4	81%
3	43	134	24	5	86%
4	51	116	37	11	78%
5	49	128	29	5	84%
6	49	125	32	5	82%
7	55	114	32	9	80%
8	62	115	29	4	84%



生徒が授業中に内容を理解できるように、きめ細かな指導をしていきたい。項目4の意見発表の機会の数値が他より若干少ないので今後に向けて改善しなければいけない。また、家庭学習も含めた生徒が主体的に学ぶ動機づけについても工夫をしていきたい。

コミュニケーション英語II

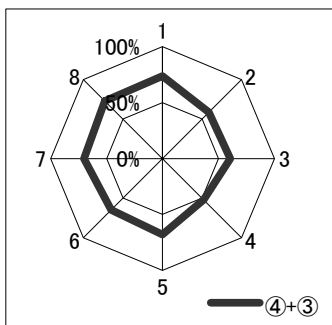
	④	③	②	①	④+③
1	53	116	14	4	90%
2	39	107	37	5	78%
3	41	109	30	8	80%
4	35	108	31	14	76%
5	43	111	26	8	82%
6	46	101	31	10	78%
7	45	99	36	8	77%
8	53	104	26	5	84%



教材の工夫については評価が高かったが、内容の理解と話し合う機会については他の評価よりも数値が低かったので、説明の仕方を工夫したり、グループワーク等をより取り入れていくような方向にシフトしていきたい。

数学II

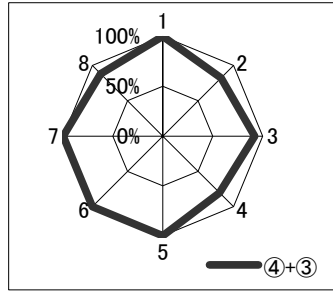
	④	③	②	①	④+③
1	53	88	29	21	74%
2	40	72	53	26	59%
3	51	65	52	23	61%
4	44	55	52	39	52%
5	62	68	38	23	68%
6	51	73	38	29	65%
7	56	78	39	18	70%
8	56	83	36	16	73%



微分積分学の基礎を学ぶなど高度な内容であり、講義中心の展開になりがちである。生徒同士で話し合う機会や意見を発表する機会を増やすよう、単元の指導計画を工夫し、分かりやすい授業に改善したい。

生物基礎

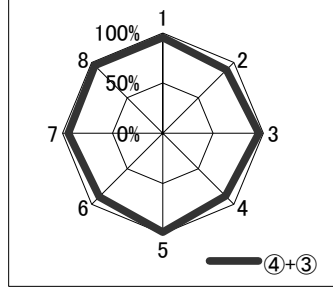
	④	③	②	①	④+③
1	18	33	0	0	100%
2	12	30	9	0	82%
3	18	29	4	0	92%
4	18	23	10	0	80%
5	28	23	0	0	100%
6	20	31	0	0	100%
7	18	33	0	0	100%
8	22	23	6	0	88%



授業の内容がだいたい理解できているとの回答が少ないことから、生徒の理解度に合わせて、意欲がより高まるような教材研究の必要性を感じる。科目の特性上、意見を発表する場が少ないため、受け身ではなく考える時間を少しでも多く作っていきたい。

世界史A

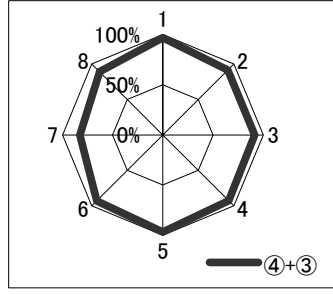
	④	③	②	①	④+③
1	36	28	3	0	96%
2	27	33	7	0	90%
3	28	36	2	1	96%
4	26	33	6	2	88%
5	36	30	1	0	99%
6	26	34	7	0	90%
7	27	36	3	1	94%
8	35	29	2	1	96%



生徒による話し合い・発表の機会が少ないことが他の評価項目と比較すると、低く評価されている。他者の意見を聞き、自分の意見について考察することは、より深い学びへとつながるため、授業の方法や授業の構成について、教員同士で話し合うなどの改善が必要である。授業に対して意欲的に取り組もうとしている生徒が多いため、より良い授業を行っていきたい。

現代社会

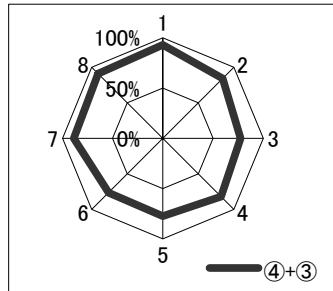
	④	③	②	①	④+③
1	108	75	4	2	97%
2	81	92	14	2	92%
3	88	85	14	2	92%
4	97	78	10	4	93%
5	118	65	4	2	97%
6	73	103	11	2	93%
7	59	97	29	4	83%
8	91	77	18	3	89%



多くの項目で90%を超える満足度を得られている。自ら学ぶ意欲を高めるための工夫を、次年度以降の課題とする。

社会と情報

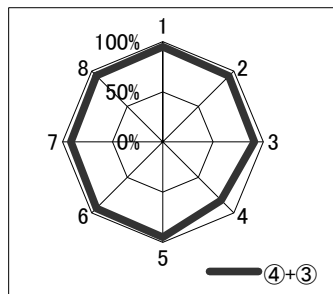
	④	③	②	①	④+③
1	38	45	4	2	93%
2	26	49	12	2	84%
3	33	36	19	1	78%
4	30	43	13	3	82%
5	30	39	16	4	78%
6	33	35	17	4	76%
7	31	48	6	4	89%
8	29	52	8	0	91%



全体的に高い評価を得ることができた。生徒が互いに教え合う環境を作るなどし、コンピュータ操作に不慣れな生徒も理解が深まるような授業展開を心がける。

家庭基礎

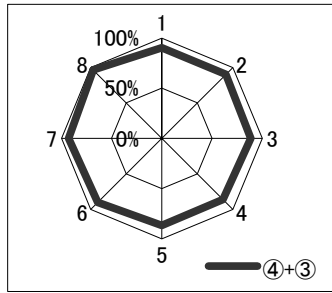
	④	③	②	①	④+③
1	60	89	8	0	95%
2	68	78	11	0	93%
3	60	83	14	0	91%
4	45	84	26	2	82%
5	66	83	8	0	95%
6	53	94	10	0	94%
7	55	89	12	1	92%
8	72	75	9	1	94%



高い評価を得ることができた。生徒が興味を持って取り組んでいることがわかる。4の数値の低さを改善するために、生徒が話し合う機会を、今年度より2回以上増やしたいと考える。

体育

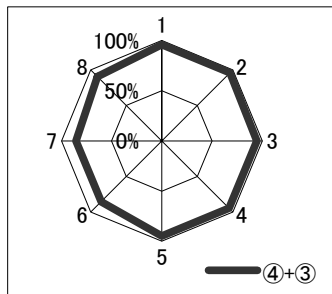
	④	③	②	①	④+③
1	61	41	8	3	90%
2	64	38	8	3	90%
3	64	36	12	1	88%
4	60	37	13	3	86%
5	65	33	14	1	87%
6	62	39	8	3	90%
7	63	42	6	2	93%
8	72	37	3	1	96%



体育では、どの項目においても評価が
高く、生徒の授業に対する関心・意欲
が高いことがわかる。今後も生徒の自
主性を重んじ、自己の状況に応じて体
力の向上を図る能力を育て、健康・安
全を確保しつつ生涯にわたって豊かな
スポーツライフを継続する資質や能力
を育てていきたい。

保健

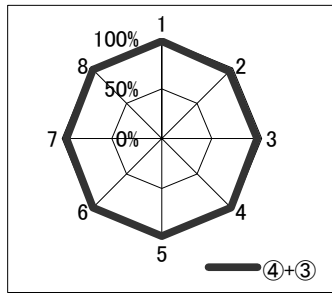
	④	③	②	①	④+③
1	42	31	3	0	96%
2	36	37	3	0	96%
3	36	36	4	0	95%
4	47	25	4	0	95%
5	38	34	4	0	95%
6	26	39	10	1	86%
7	23	42	10	1	86%
8	35	34	6	1	91%



項目4について、積極的にグループ学
習等を取り入れ、生徒が主体的に取り
組むことのできる授業を目指した成果
があったと思われる。次年度へ向け
て、生徒が自らの学習について、更に
主体的に学びを深めることができるよ
うに、生徒の興味・関心や実態に合わ
せた授業を目指していく。

美術I

	④	③	②	①	④+③
1	21	23	1	0	98%
2	23	20	2	0	96%
3	23	20	2	0	96%
4	23	21	1	0	98%
5	24	20	1	0	98%
6	26	18	1	0	98%
7	24	19	2	0	96%
8	25	18	1	0	98%

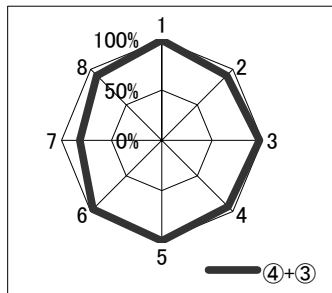


概ね良好であると考えられる。若干
名、授業への興味・関心が薄いよう
に思われる生徒がいるので、引き
続きそれぞれの生徒に合わせた対
応を続けることで、②の項目を0に
していきたい。

定時

国語総合

	④	③	②	①	④+③
1	21	13	0	0	100.0%
2	14	18	3	0	91.4%
3	19	15	1	0	97.1%
4	14	14	2	0	93.3%
5	19	13	0	0	100.0%
6	20	11	1	0	96.9%
7	13	14	5	1	81.8%
8	17	15	3	0	91.4%

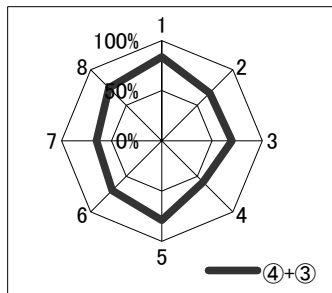


分かりやすい授業、きめ細かい指
導については良好な評価になっ
た。前期の課題であった「授業中に
生徒同士で話し合う機会がある」と
いう項目4は改善されたが、今後も
継続して改善に取り組み、生徒の
主体的な学びを引き出していきたい。

35

現代社会

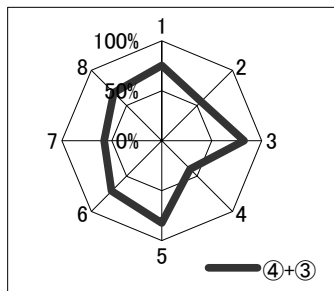
	④	③	②	①	④+③
1	16	20	7	0	83.7%
2	12	17	13	1	67.4%
3	12	18	13	0	69.8%
4	16	9	16	2	58.1%
5	17	17	8	1	79.1%
6	12	18	12	1	69.8%
7	12	16	12	3	65.1%
8	15	17	10	1	74.4%



前期と比べて「教材が工夫されるなど
して、取り組みやすい授業である。」と
「説明の仕方がいいので、分かりや
すい授業である。」の割合が増え、「授
業中、生徒同士で話し合う機会や意見
を発表する機会がある。」が減ってい
る。基礎知識の習得を目指しつつ、一
方向的な授業に終わることなく、生徒
たちが相互に問題解決に取り組む姿
勢を養いたい。

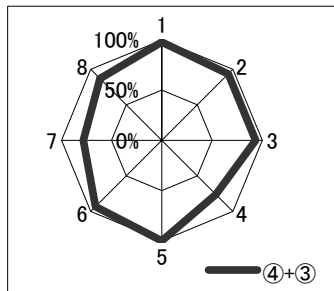
43

数学 I					
	④	③	②	①	④+③
1	18	16	8	3	75.6%
2	15	10	12	8	55.6%
3	15	22	7	1	82.2%
4	10	8	11	16	40.0%
5	17	20	5	3	82.2%
6	14	18	9	4	71.1%
7	13	13	10	9	57.8%
8	12	18	9	5	68.2%
					45



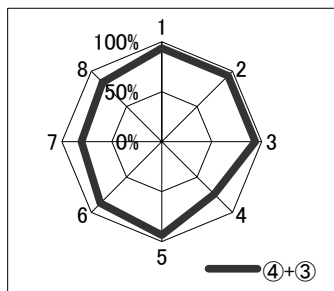
もともと苦手な生徒が多い教科であるため評価は低いが、前期と比較すると、後期は2次関数のグラフの指導等で個々の生徒に対してきめ細かい指導を行ったので幾分改善した。項目4については、教科の特性上、なかなか難しいところがあるが、なるべく生徒に質問し、発言する機会を増やしていきたい。

生物基礎					
	④	③	②	①	④+③
1	26	19	1	0	97.8%
2	20	23	3	0	93.5%
3	20	23	3	0	93.5%
4	16	19	10	1	76.1%
5	32	14	0	0	100.0%
6	24	19	3	0	93.5%
7	21	15	9	1	78.3%
8	26	14	5	1	87.0%
					46



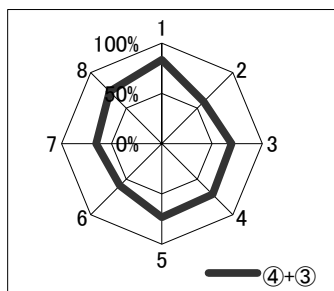
前期よりほとんどの項目で④の割合が増えた。4の項目が低いので、次年度は話し合いやグループワークを積極的に取り入れることを計画している。次年度以降も更に実験や演示を増やし、全員にとって分かりやすく楽しい授業を目指していく。

保健					
	④	③	②	①	④+③
1	20	9	2	0	93.5%
2	19	10	2	0	93.5%
3	18	11	2	0	93.5%
4	16	7	7	1	74.2%
5	18	11	2	0	93.5%
6	16	11	4	0	87.1%
7	15	10	6	0	80.6%
8	15	11	5	0	83.9%
					31



前期と比較して④+③の割合が増えた。共通プリントを用いて学習の理解度を深め、分かりやすい授業を心がけた効果が出ている。今後はグループ学習や生徒同士が積極的に話し合える機会を多く取り入れ、項目4を改善したい。

コミュニケーション英語 I					
	④	③	②	①	④+③
1	12	29	5	3	83.7%
2	13	16	16	4	59.2%
3	8	26	11	4	69.4%
4	20	15	8	6	71.4%
5	19	17	9	4	73.5%
6	16	13	16	4	59.2%
7	15	17	11	6	65.3%
8	15	21	8	5	73.5%
					49



前期と比較すると全体的に評価は上昇した。基礎的な英文法のテキストを用いつつ、中学校の既習事項の復習をした上で教科書の内容に入っていくなど、生徒の実態に合わせた指導を進めた結果であると思われる。一方で、他教科に比べてまだまだ全体的に低い評価であるので、さらに個に応じた指導を進めていきたい。